

スペイン 無許可のマンダリン栽培者に対する法的措置を準備

[FreshPlaza 2025年4月15日](#)

ジェネシスフレッシュ社とTEO(The Enforcement Organization)社は、2024年12月に公表されたシガル(Sigal)品種マンダリンの違法栽培の猶予期間が2025年5月1日に終了することを業界に注意喚起している。両社は、この期間中は許可されていない生産者に対して法的措置を取らないことを約束しているが、保護されたシガル品種マンダリンの無許可農場の探索と監視は続けている。生産者はこの期間中に、法的な追及に直面することなく、自らの状況を正常化することができた。5月1日からは、植物新品種育成者の権利を保護し、正式に認可された生産者の投資を保護するため、厳格な法的行動計画が実施される。

シガル品種を守るため能力と経験をフルに活用 植物新品種育成者の権利を保護する長い歴史を持ち、オッリマンダリンの保護に成功してきたTEO社は、5月1日にシガル品種マンダリンの正当な権利を保護するための作戦を開始する。自治州レベルの植物品種当局(CPVO)によって付与された権利として、シガルは2054年12月31日まで植物品種として保護される。この目的のためTEO社は、植物新品種育成者の権利と合法的にシガル品種のライセンスを取得した生産者を保護するために必要なすべての機能、手段、及び管理の仕組みを備えている。これには、権威あるバレンシア州農業研究所(IVIA)によって承認された分子マーカー技術による最新の品種同定の実施が含まれる。この技術により、市場に流通している他のマンダリンからシガル品種を明確に識別することができる。さらに、TEO社は農場の監視に高度な衛星映像システムを利用するほか、ほ場監査員と情報提供者の広範なネットワークがあり、彼らには、許可されていない農場の正確な位置を簡単に報告するための測位ソフトウェアツールWatchSATが提供されている。また、植物の知的財産に高度に専門化し、この種の法的措置において実績のある法務チームも有している。

無許可農場の詳細を登録 過去数年間に実施された体系的な探索、監視、及び包括的な分析により、ジェネシスフレッシュ社とTEO社は、ライセンスを持たずに約135ヘクタールでシガル品種を栽培する30以上の農場の詳細な記録を入手することができた。この記録は、専門家の詳細な報告、毎年の生産記録、及び品種の同一性を明確に確認する遺伝子分析に基づいている。特定された農場は地理的に、スペイン国内の柑橘類産地全体に分布し、バレンシア州では違法農場の数が最も多く、アンダルシア州は面積が最大である。

無許可の生産者は、植物品種の保護と植物新品種育成者の権利に関する現行の法律に違反しているだけでなく、正式にライセンスを取得した生産者に対して不公平な競争をもたらしている。

シガル品種の違法な搾取を続ける生産者は、他の保護された品種に対するこれまでの取組みで既に適用されたのと同じ法的及び経済的な結果を招くこととなる。それは、多額の金銭的補償、違法な農場の強制的な伐根、及び違反者の費用負担による報道への有罪判決の公表等である。植物新品種育成者の知的財産権の侵害は、法的及び経済的に深刻な結果を引き起こす重大な犯罪である。

ライセンスの取得手続きは植栽目標が達成されるまで解放 猶予期間は5月1日に終了するが、シガル品種の新規ライセンス付与プロセスは、1千ヘクタールの目標が達成されるまで継続される。

ヴォルカーニインスティテュート社(イスラエル)によって開発されたシガル品種は、プレミアムなマンダリン品種カタログの新たな指標である。鮮やかなオレンジ色から赤みを帯びた色合いで、脱緑処理を必要としない。皮をむきやすく、風味に優れ、果汁含有量が多い。果実の大部分は種が無い。商業的に評価が高く、アルタナリア属菌に対して遺伝的耐性がある。収穫期は12月から2月までで、スペインの柑橘類シーズンの主要な時期をカバーし、同じ時期に入手可能な従来品種よりもはるかに優れた選択肢を提供する。

ジェネシスフレッシュ社とTEO社が推進するヴォルカーニプロジェクトは、全面的な法的支援を受けつつ持続可能で革新的な品種に投資することにより、柑橘類セクターの品種モデルを変革することを目指している。規制の遵守は、単なる法的義務ではない。それは、技術革新の価値を維持し、サプライチェーン全体の未来を確保するための重要な条件である。

(翻訳は情報の提供を目的としており、特定の企業や製品を推奨するものではありません。)